

■立石清重 幕末から明治維新时期にかけての大工棟梁で建築家。擬洋風建築の傑作「旧開智学校校舎」を遺した。
たていしせいじゅう
シボルト追放・1829＝ 信濃国筑摩郡の松本城下で、_代々大工棟梁職を継ぎ、松本藩にも出入りしていたの立石家に生まれる。

大塩平八郎乱1837＝ 8歳：
適塾オープン・ 1838＝ 9歳：

阿部正弘首座1845＝16歳：
・・・・ 1847＝18歳：

朝棟と号する_傑出した棟梁になり、性重厚にして信望厚く、進取の気性に富んでいた。

ペリー来航・ 1853＝24歳：

松下村塾・・・ 1856＝27歳：

桜田門外変・ 1860＝31歳：

薩摩藩士密航1865＝36歳：

明治維新・・・ 1868＝39歳：
維新前後までは、松本藩や筑摩県などからの請負仕事が多い。

学問のすすめ1872＝43歳：学制の発布で、
明治6年政変 1873＝44歳：
佐賀の乱・・・ 1874＝45歳：筑摩県筑摩郡南深志町一番町の廃寺になった青龍山全久院の建物を利用して、開智学校が開校、
初の民間工場1875＝46歳：筑摩県権令永山盛輝の命で、*児童約1,300人を収容する500平方メートル余りの新校舎を建築することになり、少なくとも2回、東京・横浜に出て、擬洋風建築を見学、「東京出府記」に買ったものや食べたものとともに、詳しく記録されている。とくに2年前に竣工した開成学校(東京大学の前身)から大きな影響を受け、地元有力者を中心に、建築に関する一切を引き受ける{開智学校新築懸}が組織され、7割もの学区内町民らの金を得て、擬洋風建築「開智学校校舎」に着工、
三つの反乱・ 1876＝47歳：_竣工。続いて、2階にベランダ、3階に唐破風のついた「洗馬学校校舎」に着工し、
西南戦争・・・ 1877＝48歳：_竣工。東京裁判所に酷似した「師範学校」など、特徴的な擬洋風建築から、
大久保暗殺・ 1878＝49歳：他の2人の棟梁とともに、和風の「松本裁判所庁舎」、現存しないが、戦後も長野地方裁判所松本支部、松本簡易裁判所、長野家庭裁判所松本支部の各庁舎として利用された。
琉球処分・・・ 1879＝50歳：「大町裁判所庁舎」、
・・・・・・ 1880＝51歳：「島立村三ノ宮本社」。東海・京都巡幸の明治天皇が立ち寄ることになり、教場の一つを御座所に改築。
明治14年政変1881＝52歳：「岩田村裁判所」「上諏訪裁判所」「飯山裁判所」など、_和風建築や、
岩倉具視没・ 1883＝54歳：_個人の邸宅や学校修繕が中心になり、
内閣発足・・・ 1885＝56歳：松本深志高等学校の前身の_「長野県松本尋常中学校」以降、純洋風建築への移行がみられる。
帝国大学始・ 1886＝57歳：「島立村役所」、
国民之友始・ 1887＝58歳：_「長野県会議事堂」は、落成するも、翌日、失火によって全焼。汽車で帰宅する途中に、炎上する議事堂を車窓から見るようになったという。
初の対等条約1888＝59歳：「郵便電信局」、
帝国憲法発布1889＝60歳：_「東筑摩郡高等小学校」は、開智学校女子部の校舎となり、写真がシカゴ万博に出品された。
以後は、副棟梁や社員が工事したり、図面や仕様書のものものが多くなる。筆まめで、自ら手掛けた建築の工事記録、資材帳簿、職人の出勤記録や支払記録、出納簿など多くの帳面を遺し、近代初頭の建築状況を示す貴重な資料びなっている。晩年には、曾根達蔵らの紹介で、造家学会にも加入するなど、_西洋建築の勉強を生涯続けて、
大本教・・・ 1892＝63歳：
日清戦争始・ 1894＝65歳：_没した。
「開智学校校舎」は、校舎としての役目を終えたのち移築され、「旧開智学校校舎」として、1961年に国の重要文化財に指定され、2019年には国宝になった。